

【教育課程との関連】

【理念】子供たちの「今」と「未来」の幸せのために

【1】確かな学力の定着と向上

- 「分かる」「できる」「楽しい」つまり「学びがい」のある授業を実践する。学年間での交換授業の実施
- 校内研究を中心に「主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を行う。学びに向かう力や思考力・判断力・表現力を育てる。」
- ICT機器を活用した学習の充実、授業改善（GIGAスクール構想）
- 繰り返し学習を行い学習内容の定着を図る（朝学習・放課後学習の充実、振り返り月間の活用）
- 日常的な取組
 - ・「小梅学習スタンダード7」の共通理解・定着
 - ・学習したことを振り返り、ノートに自分の考えを記述する習慣化
 - ・自学の習慣化（朝学習・家庭学習・読書の習慣化）を図る工夫
 - ・書くこと・読むことの習慣化（校長講話作文・俳句づくり・読書感想文・様々なジャンルの文、グラフを読みこなす）

【2】豊かな心を育成する

- いじめや偏見、差別をなくそうとする意識と態度の育成
 - ・「いじめ防止教育プログラム」「小梅小いじめ防止基本方針」をもとに、集団ルールの遵守、いじめは絶対に許さない指導の徹底
 - ・教育心理検査（アイチェック）・いじめアンケートを活用した、いじめ等の未然防止、早期発見・早期対応
 - ・特別支援コーディネーターを中心に、SC・特別支援教室の巡回教員と専門員と心理士との連携をとり、特別支援教育の充実を図る
- 規範意識を醸成する（主体的に判断し行動しようとする態度）
- 児童の自尊感情や自己肯定感を醸成する、
 - ・寄り添う・励ます・支える・認める・褒める
 - ・たて割り班活動の充実
- 道徳教育の充実
 - ・「よりよく生きる力」を育てる授業実践（交換授業）

【3】体を鍛え健康に生活する力を培う

- 日常的な取組
 - ・「体力向上タイム」「1学級1取組」等を通して、運動量確保のための計画的実施 **体を動かす習慣化**
 - ・「学校の新しい生活様式」の徹底と主体的に取り組む態度の育成
 - ・基本的な生活習慣の確立「健康貯金カード」（早寝早起き朝ご飯）
 - ・「自分の命は自分で守る」意識の徹底と親子防災教育の実施
 - ・未然防止のための「一声指導」は、朝の会・帰りの会で随時行う
 - ・耐える心・我慢する心の育成「もう無理！！」と思ったところから「もう1歩・もう1回」頑張れる体と心づくり
 - ・ケガの防止教育（危険の予測や回避の方法）

【ビジョン】《めざす学校像》

小梅小学校に関わる人にとって「魅力ある学校」を創造する

- ◇ 子供が、 **学び合い育ち合う学校**
- ◇ 教職員が、 **教育の専門家として学び育ち合う学校**
- ◇ 保護者が、 **安心・安全に思い通わせたい学校**
- ◇ 地域が、 **誇りに思える学校**

《学校教育目標：めざす児童像》

思いやりのある子
深く考える子
たくましい子

【経営指針】校長の思い

子供たちの健康を守る 子供たちの学びを止めない

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、子供たちに未来の創り手となるための必要な資質・能力を育む。明日、そして将来に繋がるように子供の学びが進化する授業づくりを目指す。

社会背景・要請、伝統と期待と共に、各保護者の教育観・各個人のもつ課題の多様化を受けとめ、意見や思いを聞きながら修正を繰り返し、「納得解」を得ながら創る考え方（マネジメント）を重視する。

【4】安心・安全な教育環境づくり

- 「学校の新しい生活様式」の徹底と主体的に取り組む態度の育成（しすぎることは無い、やらずに得る代償の方が大きい）
- 人権教育の徹底
- 「心の安定」なくして「生活の安定」「学力の向上」はない

〈1〉組織力を生かす

- 管理職⇄主幹⇄主任⇄教諭のラインを明確にし、全員体制で取り組む
「4つの◎」（挨拶・集まり・後片付け・安全）の徹底：あらゆる機会に！
特に重点課題は「挨拶」
- 「よい生活の習慣化」をめざし同一歩調で徹底
- 同僚性の重視・チーム学年 チーム専科の重視
疑問なこと、困ったことが生じたとき、支援が欲しいとき等、躊躇せずヘルプの声を出す又それに気付く。
- 評価を生かす
PDCA に基づき短いスパンでの分掌ごとの評価&学校評価（保護者・児童・学校運営連絡協議委員）を教育活動の改善につなげる。
- 教員の強みを生かす

〈2〉地域に貢献すべき学校・教職員であることの自覚

- 学校運営連絡協議会の意見を生かす
- 教育活動の積極的な可視化【見えなければ伝わらない】
 - ・保護者会、学校公開、学校行事等で意図や良さや思いを伝える
 - ・各種便り、HP、正門の掲示板等による積極的な情報発信の工夫
 - ・努力を認め讃える場の設定と、校長講話作文の掲示のさらなる充実
- 「おもてなし」の気持ちが表れる対応をする
 - ・来校者、保護者への挨拶は、率先して元気2倍で行う
 - ・丁寧な電話対応、用件の確実な伝達
- 地域の歴史・文化・人材等の教材化を図る
- 地域・保護者と時間や思いを共有する
PTA 活動・地域等行事・おやじの会行事等に積極的な参加で、太く強い「つながり」を築くことを重視＝「共感・仲間」

〈3〉サービスに対する厳正な態度

- ◎**サービス事故防止**
 - ・公教育に携わる者としての自覚（サービス事故の代償の大きさを理解）
 - ・体罰・不適切な指導の根絶（プロの教育者としての冷静さ）
 - ・個人情報の管理の徹底（記録簿・テスト等の持ち出し・放置厳禁）
 - ・法令を遵守する公務員としての自覚をもつ
- ※整理整頓ができないのは甘えである：1日3回10秒整理から
- ※互いに、注意できる関係を築く
- ※「自分は事故を起こさない！」という過信・「これくらいなら大丈夫！」という安易な認識は、危険である
- 事故発生時には、ためらうことなく、即時報告！**

〈4〉働き方改革（できること、身近なことから校務改善）

- ・ライフ・ワークバランスの実現に向けた意識改革
- ・学校経営支援部の充実 ・学年専科主任が時間コントロールを
- ・教員の勤務残業時間 **月45時間以内**（振り返りそして改善）